

## 基本部会（平成 28 年度第 2 回）でなされた意見

平成 28 年 7 月 29 日

経済産業省産業技術環境局計量行政室

計量行政審議会基本部会（平成 28 年第 2 回：7 月 6 日開催）において、各委員からなされた計量制度見直しの論点に関する主な意見は次のとおり。

### 第 1 章 民間事業者の参入の促進

#### I 計量器による適正な計量の実施の確保

##### (i) 型式承認制度（試験成績書の受入れ）

【小谷野氏（国立研究開発法人産業技術総合研究所計量標準総合センター工学計測標準研究部門統括研究主幹）】

○型式承認制度の試験データの受入れに関し、型式承認の中で行われる試験にはさまざまなものがあり、全ての試験ということになるとかなりの量となる。そのため、産総研でも 1 か月から 3 か月程度の期間をかけて行っている。認められる試験データは、その中の全ての試験ということもあり得るし、その中の項目ごとの一部の試験のみということも考えられる。

【一村委員（国立大学法人名古屋大学イノベーション戦略室長・教授）】

○「短期的取組」「中長期的取組」について、「短期的取組」では非自動はかりが全面的に入ってくるのはわかるが、「中長期的取組」においてどの条件がクリアされると次のステップに行くのかを明確にすべき。

【田中（康）委員（一般社団法人日本計量機器工業連合会理事）】

○ISO 17025等の認定基準は、恐らくかなり難しい条件にはなっていくことが予想されるが、それを行ってでも試験結果を認めてもらえるということはスピードアップにつながる。

○電磁場等のかなり大がかりな試験装置の場合、設備は国や県、市町村で持っていたとしても、それらの自治体等がISO 17025を取得するのか。あるいは、取得することまではできない場合、産総研として他の方法で受け入れることは可能なのか。

【大谷委員（日本電気計器検定所理事長）】

○「ILAC/MRA 署名認定機関により認定された試験所、あるいは産総研で保有する実績データを参考にする」という記載だが、この中で、性能あるいは構造検査について、信頼性を向上させるためにも、基準を満たす、満たさないという結果論のみならず、場合によっては追加データの提出が必要となることもある。それは特定計量器ごとに変わるため、整備するガイドラインを一つのみとするのではなく、大きなガイドラインを一つ作り、それに加えて特定計量器ごとのものを徐々に整備していくべき。

## (ii) 検定制度（指定検定機関の指定要件の見直し）

【片桐委員（一般財団法人日本品質保証機構理事）】

- 民間の参入に際し、公平性・公正性・独立性を維持するため、例えばISO 17020のタイプAに限定する等をすべき。製造事業者が直接検定機関になることができる等の制度は、かなり疑問がある。
- はかりの修理検定の実績を見ると1%程度の不合格が出ているので、その修理事業者が自ら修理したあとに自ら検定を行った場合、しっかりと不合格を検出できるのか。

【戸谷委員（東京都計量検定所所長）】

- 中立性・公正性とセットで、サーベイランスの仕組みを構築して盛り込めば、自ずと制度の信頼性もチェックできるのではないか。

## (iii) 指定製造事業者制度

【片桐委員】

- ISO 9001の認証結果の活用は非常に良いことだと思う。しかし、指定製造事業者の指定は工場ごととなっているが、ISO 9001は複数の工場一括で取得されている例が多く、認証結果を受け入れた際に、管理する範囲が違っているため受入れが難しいということが出てくるのが想定されるため、そういった点をクリアできるような仕組みにしなければ、実際に作っても動かないのではないか。

## II 自主的な計量管理

### (ii) 適正計量管理事業所制度

【小林委員（一般社団法人日本計量振興協会推進部部長）】

- 適正計量管理事業所制度は日本独自の計量制度のため、民間活用のためにも、推進をお願いしたい。日計振としても、様々な機会事業者の拡充等を行うことは考えているが、行政サイドからの支援もお願いしたい。

## 第2章 技術革新、社会的環境変化への対応

### I IoT等の技術革新への対応（特定計量器の構造基準の見直し）

#### 【木戸委員（電気事業連合会工務部長）】

- ユーティリティメーターということで3つ挙がっており、他にもあると思うが、それぞれのニーズと役割が異なるため、メーター個々のニーズや課題を抽出すべき。
- 電力用メーターにおいてスマート化が進む中で、答申（案）の図までを検討対象としてイメージしているのであれば、費用対効果が大きくかかわってくる。

#### 【葛西委員（公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会監事）】

- ユーザーとしては、スマートメーター化は非常に魅力的な内容。ガスや水道や電気が全部一体的に管理されて料金化されていくということにはとても期待している。

#### 【黒田委員（東京工科大学名誉教授）】

- 無線規格「Wi-SUN」が国際標準化され、次期スマートメーターの候補となっている。こういったものと将来は一緒になると理解していいか。

#### 【田中（康）委員】

- 経済産業省が実施しているIoTの推進やインダストリー4.0等の、先進的なロードマップや方向性があるが、計量業界では、計工連や、先進的な考えを持つ企業もある一方、将来像がみえないという企業も当然ある。そのため、関係団体等へ向けた勉強会のようなものがあると検討を進める上での参考となる。

### II 特定計量器への追加

#### (i) 自動はかり

##### 【小林委員】

- 「使用者に対する影響への配慮」で、「国、産総研、計量関連企業、計量団体等は、検定・定期検査での使用者への新たな負担を可能な限り軽減するよう検討を行う」との記載があるが、計量関係企業や計量団体等における今までの検定・検査手数料は、検定手数料にあわせて検査手数料を計算しており、民間企業における費用としては安めに設定されているため、その現状も考慮すべき。

##### 【高増部会長（国立大学法人東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻教授）】

- 自動はかりも検定対象にしなければ様々な商売での公平性や安全性等が保てないという状況があるが、単に検定対象とすると規制が強化されてコストが上がるということになる。それを防ぐ方法として民間の力の導入等があるが、例えば非自動はかりでの新しい取組みがうまくいかなければ、自動はかりもうまくいかないということになると考えられるので、関係方面が非常に協力して努力をすべき。

#### (ii) 水素燃料計量システム（水素ディスペンサー）

【田中（康）委員】

- 今回、型式は見送るということだが、2020年に向けて、今、検定を必要としない特定計量器として、技術基準だけはメーカーに課せば、将来、型式あるいは検定・検査を運用するにあたり、過去に納入した計量器が技術基準に適合しているという前提を確保できるのではないか。
- 将来的に技術基準を設けた場合、既に流通している計量器が基準に適合しないことになり、大きな問題となる可能性がある。

【一村委員】

- 水素・燃料電池ロードマップを参考にすると、時間的には短期的に取り組まないと間に合わないのではないか。

### 第3章 規制範囲・規定事項等の再整理・明確化等

#### I 計量証明事業

【田中（正）委員（一般社団法人日本環境測定分析協会会長）】

- 中長期的取組の中に記載されているガイドライン等の設定の件で、技術要件の整理やガイドラインの設定を中長期的としてしまうと、都道府県間の取組の格差がさらに拡大する可能性がある。ガイドラインがなければ、各自治体の判断に任せて取組む事項も当然増えてくることで、なおさら格差が拡大する可能性があるため、短期的に取り組むべき。
- 技術的要件の整理の他に、「計量証明事業は、グローバル化を見据えた在り方の検討を行う」ということも中長期的取組に記載されているが、先に技術要件を整理した後グローバル化の検討に入るのではないか。取組の時期を考えた場合、やはり技術的要件の整理は短期的取組ではないか。
- 3年に1度の計量証明検査を確実にやっている自治体や、自治体が行わずにJQAの出向における検定を受けることをもって計量証明検査に代えている自治体、全く計量証明検査を実施していない自治体のような差が出ている。自治体によっては実施が難しいということであれば、例えば5年、6年、8年の検定のスパンを短くすることでそれに代えられるようにすべき。それが無理であれば、計量証明検査の実施を3年で徹底することを検討する等の議論を活発に行うべき。

#### II 計量器による適正な計量の実施の確保

【小林委員】

- 一般的に、はかりについては定期検査の合格シールで次回の定期検査の年が大きく表示できるようなシールが使用されている。また、検定対象品で有効期限のある燃料油メーターや、電力量計、水道メーター等もシールが使用されており、次回の更新年月の案内が出されている。

【戸谷委員】

- 現在、定期検査の定期検査済証印について、貼り付け印（シール）が導入されており、当該検査を実施した和暦による年号の下1桁を丸で囲い、その右側に実施月を記載し、その周囲に実施機関を記載するもの。これには、毎月必要な数をあらかじめ予測し、印刷して用意しておかなければならないという余計なコストと手間がかかってくる。加えて、万一流出した場合の影響を考えると、打刻からシールにすることがふさわしいかというのは疑問。